

NEWS

米国の気象衛星のデータ受信局／利用者への
パソコン通信サービスについて

NOAA/NESDIS (米国の海洋大気庁、環境衛星データ情報局) では、極軌道衛星 NOAA、静止衛星 GOES のデータ受信局／利用者向の情報提供手段として、パソコン通信を利用した電子掲示板 (DRUSER EBB; Direct Readout User Electronic Bulletin Board) サービスを開始した。目下のところ試験運用期間中ではあるが、提供する情報としては、衛星の軌道情報、運用情報、放射計のキャリブレーションデータ等があり更にデータ利用のためのワークショップや会議の案内や関連出版物の紹介も含まれている。またメールボックスを開設することによって、NOAA/NESDIS の衛星運用担当者と直接意見交換も行えるなど、今まで郵送により行われていた情報提供や意見交換に比べ、はるかに大量の情報

を迅速に扱え、その利用価値は極めて高いと思われる。

この電子掲示板の運用は、NOAA/NESDIS が契約している民間の情報会社 (Information Consultants Inc.) があっており、1986年11月現在、9カ国、約300ユーザーが利用している。ユーザーを衛星データの直接受信局に限定しているため、目下のところ利用は無料である。

このように、多目的の情報交換のための手段として、パソコン通信を利用した電子掲示板システムは、今後気象事業の色々な分野で利用されていくものと思われる。

(資料は NOAA/NESDIS の Satellite Program Specialist R.W. Popham からの私信による)

(気象衛星センター 操野年之)